

令和3年度「医療分野における ICT 技術の利活用に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

現在、医療分野における ICT 技術の利活用に関する今後の施策推進方針を委託事業者と検討しています。本アンケート調査とは別に実施した市内医療機関向けアンケートの結果と併せ、医療分野における ICT 活用に関する施策検討の参考とさせていただきます。

2 アンケートを実施した感想

Q17 の「医療における ICT 技術の利活用について、ご意見があれば自由にご記入ください」にもご意見いただきましたが、ICT の利活用は、「進めるべきだが、セキュリティ面で不安を感じる」という印象を与えるものと認識しております。

市民の皆様が、必要以上の不安を感じることなく、個人個人が ICT の利活用について判断でき、その恩恵を享受できるよう、適切な情報を発信していくことが重要であると改めて認識しました。

3 担当部署の e アンケートメンバーへのメッセージ

アンケートへのご協力、ありがとうございました。皆様の回答やご意見は、医療分野における ICT 技術の利活用における参考とさせていただきます。

横浜市では、「横浜市 ICT を活用した地域医療連携ネットワークガイドライン」を策定し、市内の連携ネットワークである「サルビアねっと」の支援を行っています。「サルビアねっと」は、ネットワーク参加施設間で、服薬情報や検査情報などを共有する仕組みです。現在、鶴見区・神奈川区の医療機関・介護施設・薬局を対象としておりますが、救急時など、自ら情報提供ができない場合でも、参加施設間で医療情報を参照し、禁忌薬やアレルギーなどを踏まえた医療を受けられるなどのメリットがありますので、ぜひ参加登録をお願いします。

【サルビアねっとウェブページ URL】 <http://tsurumi-salvia.net/>

(トップページ右上の「参加申込はこちらから」から参加登録が可能です)

担当：医療局医療政策課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。